



ゆくて遥かに

令和2年6月29日(月)

第114号

長野県松本深志高等学校長

一学期期末考査行われる(6月23日~26日)

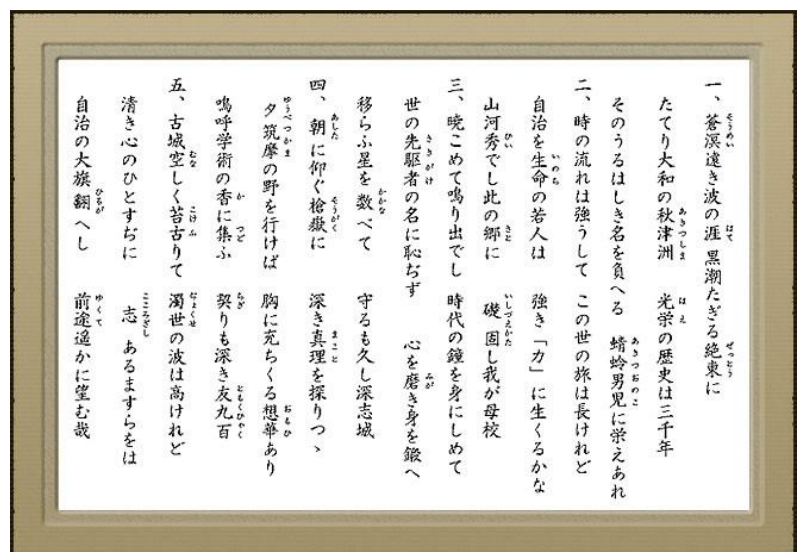
学校が通常再開となって先週で四週め、当初の予定どおり、四日間の期末考査を実施することができました。「ウィズコロナ」の中、不自由ではあるけれど貴重な時間を工夫して、瞬間瞬間に最善を尽くそう、と前号で書きましたが、どの教室でも、懸命に問題に向かっている生徒の姿が見られました。考査と言えば、以前、本校に勤められていた先生の随想にこんな一節があります。「生徒の答案で、とびぬけていいものがあると、嬉しくて、『Good!』と大きく書く。



こんな問題ができるといいな、そう考えながら作った難問の場合が多いが、ほとんどの生徒が核心の周辺を巡っているような解答をしている中で、的確に読み取り、確かな論理で考え、そして完璧な内容を緊密な文体で表現している答案が、中にはある。自分が考えた答案より、優れている。そんな時は、もう嬉しくてたまらない。だから、『Good!』と大きく書いて、配点基準より、大幅に加点して、点をやる」(斉藤金司「学校の四季」)試験は、出題者と解答者の対話という面がありますよね。

校歌を覚えよう(1年生春の歌連6月30日~7月3日を前に)

現在の校歌が生まれたのは大正11年です。作詞は松原威雄(松中45回)、作曲は岡野貞一(東京音楽学校)。それ以前にも松本中学の校歌は存在していたのですが、寮歌や応援歌が主に歌われていて、実質的にはほとんど忘れ去られた状態だったようです。今の校歌が誕生した経緯について「深志百年」には次のように記載されています。「明治以来、幾多の先輩が日々の弛みない努力によって培い続けてきた松中の生命『自治』は、大正の中葉から末にかけて衰微した。その自治の頹廢の中で、繊細多感な少年松原は、己の松中五年の生活の限りなき哀感をこめながら、自治の再生を声を限りに叫んだ。その万感の想いが高らかに歌いあげられて、『松本中学校校歌』となったのである。自治の衰頹は大正11年だけのことではない。昭和の初期にも、戦後に於ても、そして現在も自治は衰頹している。しかし、自治再生を叫ぶ多感な一松中生松原は、校歌と共に絶えることなく、その時その時の松中、深志に現われ生きてきた。校歌を母校の賛歌とだけ受け取る生徒が多い。しかし、松原が訴え続けているのは、衰微していく自治の中で、一人一人が一松中生として厳しく自治を生きよということなのであって、『至高の理想を実現せよ』という厳命なのである」



藤岡先生からの手紙（4月某日）

話題は校歌続きです。藤岡改造先生、「筑邨」先生と言った方が、当時の風貌と併せて思い浮かんでくる同窓生の方もいらっしゃるかもしれませんが、先生は松中 62 回卒で、年齢は 90 代半ばになられると思いますが、母校である深志高校に国語の教員として長くご勤務され、現在でも信濃毎日新聞の俳句欄の選者をされています。その藤岡先生から 4 月にお手紙をいただきました。内容は、今の校歌は古語が使われていて、現代の生徒には理解が難しいのではないかと、ということで、



歌詞の補作をしたので参考にしてほしい、というものです。「一 桜咲き満つ此処彼処 黒潮たぎる離れ島 立てり大和の秋津洲 栄えの歴史は二千年 そのうるわしき名を負える とんぼわれらに栄えあれ 三 暁こめて鳴り出し 時代の鐘を身にしめて 世の先駆者の名に恥じず 心を磨き身を鍛え 移らう星をちりばめて 守るも久し深志城 四 朝に仰ぐ槍岳に 深き真理を探りつつ 夕筑摩の野を行けば 胸に充ちくる想華あり 嗚呼學術の香に集う 契りも深き友一千」以前、卒業生の方（女性）から、「蜻蛉男児（あきつおのこ）」という歌詞をそのままにして、校歌として歌っているのは、女子が半数近くいる現状にそぐわず問題ではないか、というご意見をいただいたこともあります。藤岡先生の補作のご提案、皆さんはどんな感想を持ったでしょうか。

その他の話題をいくつか

★ 西穂遭難慰霊碑前に新しいお花が供えられていました。こうして同窓生や関係者の皆さんが時々訪れて、お参りをしています。昭和 42 年 8 月 1 日、突然の激しい落雷に遭い、若き 11 人の尊い命が失われてしまった、決して忘れてはいけない痛恨の出来事。私も心から手を合わせました。



★ 29 日の生徒総会でとんぼ祭実施の方向性が決まる予定ですが、一足早く T シャツやうちわ、タオルのデザインが決まり、注文を受け付けていました。併せて、応援団管理委員会の応管 T シャツも。久々の「応缶」登場です。

★ 理科の実験用教材の撮影が某日放課後、生物教室で行われていました。マイクロメーターの使い方をわかりやすく説明するための工夫。日々、教材研究が進められています。



今週の予定（とんぼ祭準備期間…?）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
29	月	5分短縮授業 生徒大会 学年会	
30	火	(P) 春の歌練習（～7/3までの内、三日間）	
7/ 1	水	職員会	
2	木		中信地区校長会
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	学年会	

